

【2020年度/専門科目領域/専門基礎科目群/基礎医学系】

科目名		ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
解剖学Ⅱ (理学療法学科中心)			必修 (理) 選択 (福)	2	1 (理) 2 (福)	後期
担当教員		研究室	電子メール ID		オフィスアワー	
坂本 宏史		D305	sakamoto		木曜日 10:00~13:00	
授業の目的・概要	解剖学Ⅱでは、中枢神経系 (脳・脊髄) の構成および末梢神経 (脳神経・自律神経) の構成を理解することを目的とする。さらに、これらの神経が支配する構造と機能とともに、神経系と関連が深い「感覚器系」の構造と機能を理解することを目的とする。講義では、①中枢神経系 (脳・脊髄)、末梢神経系 (脳神経・自律神経) の構築と解剖学的位置について、②それらの主な機能について説明する。③感覚器の構造と関連する神経の入力・出力について説明する。新型コロナウイルス感染予防のため、teamsによる同時双方向の遠隔講義を中心とした授業を行う					
学習上の助言	[事前学習について]毎回の講義の終わりに次回の内容について説明を行うので、生理学Ⅰ、運動学Ⅰの復習を兼ねて次回の内容を予習すること。 [事後学習について]毎回の講義の終わりに自宅課題を提示するので、講義の内容を復習すること。					
教科書	解剖学 標準理学療法学・作業療法学 (専門基礎) 第5版 /野村巖 (編集) /医学書院 /2020					
参考書	解剖学講義/伊藤隆著/南山堂 /2014 標準組織学 総論・標準組織学 各論/藤田尚男・藤田恒夫 /医学書院 /2017					
学生が達成すべき行動目標					関連卒業認定・学位授与方針	
①	中枢神経系の構成および末梢神経 (脊髄神経・脳神経・自律神経) の構成を説明できる。				PT(1), (2), (3), HSU(1), (2)	
②	各神経が支配する構造と機能を説明できる。				PT(1), (2), (3), HSU(1), (2)	
③	感覚器系の構造と機能を説明できる。				PT(1), (2), (3), HSU(1), (2)	
④						
⑤						
⑥						
授 業 計 画						
回	学習内容等	授業方法	学習課題・学習時間 (時間)			
1	神経総論: 神経系の基本的な構成について学ぶ。髄膜および脳室について学ぶ。	同時双方向型 遠隔授業	教科書 P.229-237 配布資料で予習・復習	4		
2	中枢神経 1: 神経系の発生および脊髄の構造について学ぶ。	同時双方向型 遠隔授業	教科書 P.237-245 配布資料で予習・復習	4		
3	中枢神経 2: 脳幹 (延髄・橋・中脳)・小脳の構造および機能について学ぶ。	同時双方向型 遠隔授業	教科書 P.245-256 配布資料で予習・復習	4		
4	中枢神経 3: 大脳・間脳の構造および機能について学ぶ。	同時双方向型 遠隔授業	教科書 P.256-267 配布資料で予習・復習	4		
5	神経学総論・中枢神経のまとめ (小テスト) 末梢神経の概略: 末梢神経系の基本的な構成について学ぶ。	同時双方向型 遠隔授業	教科書 P.278-280 配布資料で予習・復習	4		
6	脊髄神経 1: 頸部および上肢の神経について学ぶ。	同時双方向型 遠隔授業	教科書 P.280-289 配布資料で予習・復習	4		
7	脊髄神経 2: 体幹および下肢の神経について学ぶ。	同時双方向型 遠隔授業	教科書 P.289-300 配布資料で予習・復習	4		
8	脊髄神経のまとめ (小テスト) 脳神経 1: 脳神経Ⅰ～Ⅴについて学ぶ。	同時双方向型 遠隔授業	教科書 P.300-305 配布資料で予習・復習	4		
9	脳神経 2: 脳神経Ⅵ～ⅩⅢについて学ぶ。	同時双方向型 遠隔授業	教科書 P.305-311 配布資料で予習・復習	4		
10	自律神経: 自律神経系の構成や機能について学ぶ。	同時双方向型 遠隔授業	教科書 P.311-314 配布資料で予習・復習	4		
11	脳神経および自律神経のまとめ (小テスト) 感覚器系 1: 外皮の基本構造および皮膚の感覚器について学ぶ。	同時双方向型 遠隔授業	教科書 P.319-323 配布資料で予習・復習	4		
12	感覚器系 2: 視覚器 (眼球・副眼器) の基本構造について学ぶ。	同時双方向型 遠隔授業	教科書 P.323-326 配布資料で予習・復習	4		
13	感覚器系 3: 平衡聴覚器 (外耳・中耳・内耳)、嗅覚器、味覚器の構造について学ぶ。	同時双方向型 遠隔授業	教科書 P.326-331 配布資料で予習・復習	4		
14	神経路 (伝導路) について学ぶ。	同時双方向型 遠隔授業	教科書 P.268-277 配布資料で予習・復習	4		
15	感覚器・伝導路のまとめ	同時双方向型 遠隔授業	教科書 P.268-277, 319-331 配布資料で予習・復習	4		
試	期末試験 (感覚器・伝導路)					

【2020 年度/専門科目領域/専門基礎科目群/基礎医学系】

総合評価割合 (%)		達成度評価					合計
		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	
		100	0	0	0	0	100
総合力指標	知識・技術力	80	0	0	0	0	80
	思考・推論・創造する力	20	0	0	0	0	20
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	0
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	0	0
問題を発見・解決する力		0	0	0	0	0	0

評価のポイント			評価の実施方法と注意点	フィードバックの方法
評価方法	行動目標			
試験	①	✓	学期末に期末テスト (25%) ならびに授業内におこなう小テスト (3回 合計 75%) で評価する。主に教科書および授業内で配布する資料中のキーワードから出題する。	Teams を利用してテストを採点后返却・講評
	②	✓		
	③	✓		
	④			
	⑤			
	⑥			
レポート	①			
	②			
	③			
	④			
	⑤			
	⑥			
成果発表	①			
	②			
	③			
	④			
	⑤			
	⑥			
ポートフォリオ	①			
	②			
	③			
	④			
	⑤			
	⑥			
その他	①			
	②			
	③			
	④			
	⑤			
	⑥			

備 考

担当教員：◎坂本 宏史

教員の実務経験：担当教員は解剖学で博士号（医学）を取得しており、本学（専任教員）および山梨大学医学部で長年解剖学の教育に携わってきた解剖学教育の専門家である。

実践的授業の内容：解剖学における人体の構造に関わる項目の概念は、書物や視聴覚教材によって理解できると思うが、臨床時に応用できるまでの確固たる知識やイメージを獲得しにくい部分が多々ある。この授業では、実際に人体解剖に携わってきた教員により、経験に基づく様々な視点から人体の構造についての具体的な解説がなされるため、やがて臨床家となる受講者にとっては実際に即した知識を獲得でき、受講者の疑問への対応を通して、より実践的な教育を受けることができる。

感染症予防のため、Teams を使って同時双方向型遠隔授業を行う。授業時は通信容量が無制限の Wi-Fi 環境を推薦する。また、今後の新型コロナウイルス感染症の状況などによって再度シラバスが変更される可能性がある。